



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月2日

上場会社名 株式会社セキド 上場取引所 東  
コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭 TEL 03-6300-6335  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年3月21日～2025年12月20日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	4,464	—	△325	—	△391	—	△407	—
2025年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△155.67	—
2025年3月期第3四半期	—	—

（注）2025年3月期第4四半期より非連結決算に移行したため、2026年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率及び2025年3月期第3四半期の数値については記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	5,147	769	14.9
2025年3月期	4,769	233	4.8

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 765百万円 2025年3月期 230百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の業績予想（2025年3月21日～2026年3月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	7,630	1.8	80	—	24	—	4	—	1.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	3,167,228株	2025年3月期	2,040,928株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	3,616株	2025年3月期	3,586株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	2,617,592株	2025年3月期3Q	2,037,352株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における当社の経営成績の概況は次のとおりであります。なお、当社は、前事業年度第4四半期会計期間より非連結決算に移行したため、前年同期比較は記載しておりません。

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、長引く国際紛争や物価高騰など、個人消費や企業業績への影響が懸念される状況が続いております。

このような環境下、当社は、赤字決算となった2025年3月期からの業績回復を期し、主力事業であるファッション事業（店舗運営事業）と美容事業のそれぞれの課題に取り組んでおります。

ファッション事業（店舗運営事業）においては、「GINZA LoveLove」の各店舗で自社アプリやSNS等を利用し、WEBチラシによる会員様への購買促進を強化しております。また、「&choa!」店舗においては、2025年5月末に新規店舗1店舗の出店と9月にはショッピングセンター内の区画増床移転によるリニューアルオープンを行うとともに、冬の美容シーズンに向けてさらに認知度の向上を図っております。また、インフルエンサー施策やソーシャルギフト販促も導入し、販路拡大とブランド認知度の向上を図り、売上・利益の成長を目指しております。

美容事業においては、美顔器の展開を強化しており、価格競争力のある新商品を投入したほか、従来の販路に加え、家電量販店への商品供給にも力を入れております。また、これまで紹介されていなかった複数の韓国コスメブランドの日本総代理店に積極的に取り組み、幅広いお客様の需要に応えようと努めております。

その中で当社は、2025年6月に第15回乃至第17回新株予約権を、2025年12月には第18回及び第19回新株予約権の発行を行い、輸入総代理店新規取扱い商材の増加運転資金と韓国コスメセレクトショップ『&choa!』新規店舗出店資金、さらには、美容事業に係る自社ブランドの立上げと展開に向けた資金調達を企図し、業績の早期回復に努めているところです。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は4,464百万円、総額表示による売上高は5,075百万円となりました。利益面では、美容事業の新規ブランドの売上高は拡大中ですが、まだ、損益分岐点売上高までは届いておらず、営業損失は325百万円、経常損失は391百万円、法人税等を15百万円計上した結果、四半期純損失は407百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### [ファッション事業]

ファッション事業においては、韓国コスメのセレクトショップ『&choa!』1店舗の出店を行ったほか、ショッピングモール内の区画移転に伴う増床リニューアルを1店舗行いました。また、輸入ブランド専門店『GINZA LoveLove』では、路面店舗1店舗を閉店しております。営業面では、『GINZA LoveLove』で効果が見られた、AIを活用した顧客データ解析による再来店促進施策を『&choa!』に導入し、リピーターの増加に取り組んでおります。これらの結果、売上高は2,765百万円、総額表示による売上高は3,376百万円、セグメント損失は12百万円となりました。

#### [美容事業]

美容事業においては、価格競争力のある美顔器が好調に推移したほか、幅広いお客様の需要に応えるため、新規ブランドの取り扱いに加え、人気韓国コスメブランドの販売代理店として培ってきたノウハウを生かし、20代から30代の働く女性に向けて打ち出すオリジナルスキンケアブランド『肌と心（hada to kokoro）』の展開を開始いたしました。これらにより、売上高は1,498百万円、セグメント損失は9百万円となっております。

#### [賃貸部門]

賃貸部門においては、売上高は26百万円、セグメント利益は23百万円となりました。

#### [外商]

外商部門では、売上高は174百万円、セグメント利益は15百万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期会計期間末の資産につきましては、総資産は5,147百万円となり、前事業年度末に比べ377百万円増加いたしました。これは主に、滞留在庫の消化が進んだことなどにより、商品が175百万円減少しましたが、売掛金が131百万円増加したほか、新株予約権による資金調達などで現金及び預金が403百万円増加したこと、『&choa!』の新規出店や区画移転リニューアルなどで有形固定資産が28百万円増加したことなどによるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債につきましては、負債合計は4,378百万円となり、前事業年度末に比べ158百万円減少いたしました。これは主に、年末年始商戦に備えた商材の仕入に伴い、支払手形及び買掛金が126百万円増加しましたが、前事業年度末に既存ブランドの終息に備え、一時的に増加した預り金が商品の消化に伴い199百万円減少したほか、社債の償還55百万円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金の約定返済104百万円などによるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、純資産合計は769百万円となり、前事業年度末に比べ535百万円増加いたしました。これは主に、四半期純損失407百万円の計上と新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ459百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は14.9%（前事業年度末は4.8%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期（2025年3月21日～2026年3月20日）の業績につきましては、第4四半期において、年間を通してウエイトの高い年末・年始商戦での実績に加え、事業年度末に向け、ファッション事業（店舗運営事業）では催事を行うなどの施策を、また、美容事業では、2025年11月に総代理店契約の締結をお知らせした、韓国で人気のホームエステケアブランド『MEDITERAPY』や自社ブランド『hada to kokoro』の展開を予定していることなどから、2025年5月7日に「2025年3月期決算短信」において公表した通期の業績予想を変更しておりません。

なお、今後、新たな業績の見込みが判明した場合には、速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月20日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	504,166	907,706
売掛金	515,151	646,585
商品	2,274,581	2,098,723
預け金	129,168	164,808
その他	144,699	91,724
貸倒引当金	△15,798	△16,154
流動資産合計	3,551,968	3,893,392
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	195,781	213,988
工具、器具及び備品（純額）	63,077	74,061
土地	429,273	429,273
リース資産（純額）	2,778	2,083
有形固定資産合計	690,909	719,406
無形固定資産		
ソフトウェア	14,486	10,170
無形固定資産合計	14,486	10,170
投資その他の資産		
投資有価証券	124,088	151,235
関係会社株式	15,000	15,000
差入保証金	350,766	338,635
その他	22,355	19,371
投資その他の資産合計	512,211	524,242
固定資産合計	1,217,607	1,253,819
資産合計	4,769,575	5,147,211

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月20日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	489,467	616,391
短期借入金	2,390,637	2,453,300
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	133,228	101,574
リース債務	2,797	2,362
未払金	198,679	191,239
未払法人税等	19,300	27,200
預り金	223,297	23,309
契約負債	15,957	36,882
その他	41,155	60,252
流動負債合計	3,584,519	3,582,512
固定負債		
社債	185,000	130,000
長期借入金	321,103	248,671
リース債務	3,892	2,203
繰延税金負債	20,295	25,320
退職給付引当金	90,116	79,934
役員退職慰労引当金	109,800	109,800
資産除去債務	139,152	132,500
長期預り保証金	29,980	29,980
長期未払金	52,309	37,244
固定負債合計	951,649	795,655
負債合計	4,536,169	4,378,167
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	469,316
資本剰余金	504,378	963,695
利益剰余金	△349,284	△756,761
自己株式	△5,060	△5,083
株主資本合計	160,033	671,167
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	70,334	94,072
評価・換算差額等合計	70,334	94,072
新株予約権	3,037	3,804
純資産合計	233,406	769,044
負債純資産合計	4,769,575	5,147,211

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年12月20日)
売上高	4,464,148
売上原価	3,306,414
売上総利益	1,157,734
販売費及び一般管理費	1,483,425
営業損失(△)	△325,691
営業外収益	
受取利息	476
受取配当金	4,279
その他	4,622
営業外収益合計	9,379
営業外費用	
支払利息	41,732
社債利息	1,271
新株予約権発行費	27,477
その他	5,049
営業外費用合計	75,530
経常損失(△)	△391,842
税引前四半期純損失(△)	△391,842
法人税、住民税及び事業税	14,018
法人税等調整額	1,615
法人税等合計	15,634
四半期純損失(△)	△407,476



（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項（2）ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

また、会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前四半期会計期間及び前会計年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び財務諸表となっております。これによる前四半期会計期間の四半期財務諸表及び前会計年度の財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間（自2025年3月21日 至2025年12月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計
	ファッション	美容	賃貸部門	外商部門	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	2,765,053	1,498,376	—	174,168	4,437,598	—	4,437,598
その他の収益	—	—	26,550	—	26,550	—	26,550
外部顧客への売上高	2,765,053	1,498,376	26,550	174,168	4,464,148	—	4,464,148
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,765,053	1,498,376	26,550	174,168	4,464,148	—	4,464,148
セグメント利益又は損失(△)	△12,569	△9,512	23,079	15,907	16,904	△408,747	△391,842

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△408,747千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期損益計算書の経常損失としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、従来「その他」に含まれていた「外商部門」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月23日開催の取締役会において、EVO FUNDを割当先とする第15回乃至第17回新株予約権（以下、「本新株予約権」という。）を発行することを決議し、2025年6月9日付で新株予約権買取契約を締結し、同日付で発行価額の総額の払込を受けました。また、2025年6月16日より2025年8月14日までの期間に本新株予約権の行使が全て完了いたしました。

また、当社は、2025年11月18日開催の取締役会において、EVO FUNDを割当先とする第18回及び第19回新株予約権（以下、「本新株予約権」という。）を発行することを決議し、2025年12月4日付で新株予約権買取契約を締結し、同日付で発行価額の総額の払込を受けました。また、2025年12月5日より2025年12月10日までの期間に本新株予約権の一部が行使されました。

これらの結果、当第3四半期累計期間において資本金が459,316千円、資本準備金が459,316千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が469,316千円、資本準備金が645,137千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

当第3四半期累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年12月20日)	
減価償却費	43,301千円